

平成 2 8 年

第 5 回仙北市議会定例会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 8 年 6 月 2 日

平成28年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

## 【教育総務課】

### ◇全県中学校春季大会の主な結果について

平成28年度全県中学校春季大会が、県内各地で開催され、市内中学校の選手は、冬場に鍛えた練習の成果を遺憾なく発揮して大活躍いたしました。

5月21日と22日に、湯沢市総合体育館で開催された柔道大会では、神代中学校柔道部が、男子団体戦に2回戦から登場し、城南中に3-2で勝利し、続く3回戦では、八竜中を4-1、準々決勝では、土崎中を4-0と強豪校を次々に撃破し、準決勝に進みました。準決勝では、優勝した天王中と対戦し0-5で敗れましたが、シード決定戦では、大曲中を3-1で破り、見事全県第3位の栄冠を手にしました。

男鹿市総合体育館で行われた卓球競技では、神代中学校男子卓球部が、団体予選リーグE組で1位となり、決勝トーナメントに進みました。決勝トーナメント1回戦では、秋田北中を3-1で下し、準決勝では、大曲西中に3-1で惜しくも敗れましたが、シード決定戦では、秋大附属中を3-2で破り、これも見事に全県第3位の成績を収めました。神代中学校男子卓球部は、今年の全県新人大会に続く第3位であり、強豪ひしめく県大会で連続しての第3位入賞となります。

6月17日から19日に開催される、大曲仙北中学校総合体育大会での健闘を期待しております。

### ◇学校適正配置研究検討委員会の開催について

5月20日、第1回目の仙北市学校適正配置研究検討委員会が開催されました。この委員会は、仙北市における小・中学校の適正配置の在り方を研究・検討し、児童生徒にとって望ましい学習環境となる学校配置について提言をいただくことを目的に設置されたものです。

検討委員会では、冒頭、安部委員長から「この委員会をとおして、できるだけ多くの市民の皆様のご意見を伺い、市としての一定の方向付けとなるようなご提言をお願いします。」と挨拶がありました。

また、各地域のPTA代表や学識経験者などからなる12人の委員の互選により、委員長には、青柳徹前角館高等学校長が、副委員長には、浦山清悦元仙北市副市長が選任されました。

今回の委員会では、検討委員会の設置目的や開催日程といった委員会の概要についての確認が行われ、さらに、仙北市の現状と将来推計、アンケート調査の概要などについて質疑応答が行われました。

各委員からは、「保護者の意見を聞くことはもちろんだが、地域住民の声も丁寧に聞き取ってほしい。」という意見や「学校統合の問題は、単に学校の在り方を検討することではなく、地域社会をどう維持していくかという政策と一体である。」といった貴重な発言等がありました。

委員会は、今後4回の開催を予定しており、12月には提言書を提出していただく予定です。

#### ◇ドローンを用いたプログラミング学習について

5月18日、「ドローンを用いたロボットプログラミング学習研究推進拠点校」の西明寺小学校で、「ドローンを使って上空から西明寺小学校を見てみよう」と題した授業が行われました。

これは、角館ラジコンクラブの方々を講師にお迎えして実施したものです。実際に飛行するドローンやドローンが上空から撮影した映像を見て、ドローンを人間が操縦する場合とプログラミングで操縦する場合についての説明を聞き、これから始まる学習に興味と関心をもち、わくわく感を盛り上げることを目的に行われました。

当日は、好天のもと、全校児童が参加しました。希望する児童は、ドローンの操縦も体験し、「初めてで、ドキドキしたけれどおもしろかった。コントローラーが思ったより重かった。」「上空からの西明寺小学校を映像で見て、びっくりした。この後のプログラミング学習が楽しみになった。」といった声が聞かれました。

文部科学省は、2020年度以降に実施される次期学習指導要領では、小中学校の学習に、プログラミング学習を取り入れる方針を固めたとの報道がありました。仙北市では、これに先駆けて全国初の取り組みを推進しております。その意味でも、今後の西明寺小学校の取り組みを、全国へ積極的に発信していきたいと考えております。

## 【生涯学習課】

### ◇花いっぱい運動推進事業について

晴天に恵まれた5月29日、国道105号線沿いで、にしきのフラワーロード105一斉植栽を行いました。数日前の恵みの雨で植栽に適した花壇状態の中、西明寺中学校生徒を始め、約250人の市民が参加し、およそ4.6kmの両側（総延長9.2km）にマリーゴールド59,000本余りを植付けました。このフラワーロードは、仙北市の風物詩として定着しており、今年も夏から秋にかけてドライバーの目を大いに楽しませてくれるものと期待しております。

当日は、西木庁舎駐車場にて、市内4業者の出店による「花の市」が開催されました。この催しも3回目となり、色とりどりの花苗が陳列された会場には、お気に入りの花を求めて多くのお客様が訪れました。

また、この事業の一環として、希望する市内各集落や団体、保育園や小中学校へマリーゴールドの苗を配付する予定で、5月末現在72団体から34,000本余りの申し込みをいただいております。

今後とも市民が花に親しみ、明るく住みよいまちづくりができるよう、更なる事業の拡大を目指して参ります。

## 【市民会館】

### ◇ロビーコンサートについて

5月14日に市民会館で、ロビーコンサート「春だね！女子会しよ！」を開催いたしました。

「あんべいいな」でおなじみの大仙市出身の青谷明日香さん、資

生堂のCMソングなどで知られている仙北市在住の大木彩乃さんのお二人の美しい歌声と演奏を楽しんでいただきました。

参加した100人ほどのお客様からは、大変感動した、素晴らしい時間を堪能したと、うれしい声をいただきました。また、青谷氏、大木氏からも、大変楽しく演奏できましたとの感想をいただきました。

今後とも、市内外から魅力ある演奏家を招き、市民が芸術に触れる機会を増やし、活動する場を設けて参ります。

## 【スポーツ振興課】

### ◇チャレンジデー2016について

5月25日に、「スポーツで明るく元気な仙北市に」をスローガンに、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2016」が開催されました。

生保内公園野球場でのオープニングセレモニーを皮切りに、メイン競技のグラウンドゴルフのほか、角館町歩こう会、田沢湖歩こう会によるウォーキングや仙北市合同武術太極拳交流会、各地域の総合型地域スポーツクラブや団体での参加型メニューにより、たくさんの方々に心地よい汗を流していただきました。

また、角館出身の藤あや子さんからは、対戦相手の和歌山県上富田町が、大親友の坂本冬美さんの出身地であったことから、自ら仙北市の応援団としての心強いエールとともに、このご縁により両市町の交流を深めていただきたいとのメッセージをいただきました。

今回で6回目の参加となりましたが、参加率51.8%と過去最高を記録したものの、残念ながら目標としていた55%の金メダルには届かず、また、対戦相手の上富田町の参加率61.3%を上回ることはできませんでした。

しかしながら、チャレンジデーを通じての健康づくりや生涯スポーツのきっかけづくりは、少しずつではありますが、浸透してきているものと捉えております。元気でいきいきとしたまちづくりのためにも、このイベントを継続し、健康づくりの機運を盛り上げて参りたいと思います。

## 【平福記念美術館】

### ◇「内藤忠行写真展－さくら－」について

日野皓正など、ジャズミュージシャンの写真集等で有名な写真家、内藤忠行さんの写真展が、4月18日から5月31日まで「内藤忠行写真展－さくら－」と題し開催されました。

この度の展示作品は、主に角館の桜を題材としており、正方形の中に題材を重ね合わせて、シンメトリーで配するという表現を際立たせ、異界へいざなう魅力的な展示となりました。

また、さくらまつりの開催期間中にテレビ報道（テレビ朝日報道ステーション）されたということもあり、市民の方々を始め、多くの来館者で盛況を博し、期間中4,425人の入館者がありました。

### ◇「はんぽの会日本画展」について

日本美術院同人であり、同院評議員の伊藤髟耳先生を中心とした、日本画家による「はんぽの会日本画展」を、6月8日から7月24日まで開催いたします。

はんぽの会は、平成24年春に、院展秋田展へ伊藤髟耳先生が来秋されたおり、有志の働きかけにより、伊藤先生を囲んだ日本画の研修会を開いたのがきっかけで結成されました。半歩でも前に進もうという気持ちが込められた当会初の作品展となります。

また、伊藤髟耳先生の小品展も合わせて開催いたしますので、多くの方々にご高覧いただきたいと思います。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。